

避難時の心得

いざという時、あわてず、冷静に

日頃から避難に必要なものを用意しておくとともに、避難の手順について家族で打ち合わせをしておきましょう。

1 正確な情報収集を

防災ラジオやテレビなどで最新の気象情報を入手しましょう。



2 早めの行動を

非常時の持出品を確認し、危険を感じたら早めに行動できるように準備しましょう。



3 避難の呼びかけに注意

市から発令される避難情報等に注意しましょう。



4 配慮の必要な人の避難に協力を

高齢者や障がいのある人、妊産婦など、速やかな避難が難しい人を支援しましょう。



5 動きやすい服装で

浸水時、長靴は水が入って歩きにくくなります。歩きやすい靴で避難しましょう。



6 避難する時は2人以上で

避難するときは近所の人と声をかけ合って。また、塀ぎわ・崖・川に近づかないようにしましょう。



7 避難所へ行くことだけが避難ではありません

避難所へ行くことが危険な場合は、より安全な場所へ避難しましょう。

- より安全な親戚・知人宅・ホテルなど
- 自宅の2階などへの垂直避難
- 自宅の崖や川から離れた部屋への避難（屋内安全確保）

8 避難先での感染症対策

- マスクを着用し、咳エチケットを心掛けましょう。
- 手洗い・消毒・検温の励行
- 密をさけ、換気に協力ください。

